



赤十字とつながる“人”シリーズ

第5回 兵庫県中学校青少年赤十字協議会会長(赤穂市立赤穂中学校長) 平井正彦さん

平成9年、赤穂中学校への転勤が、JRC(青少年赤十字)活動との出会いでした。赤穂中学校の赤十字活動の歴史は古く、昭和25年(1950年)に「青少年赤十字団」を結成し、世界平和と人類福祉に貢献する人づくりを教育活動の重要な柱として位置づけました。68年目を迎える現在も、生徒会行事や活動など、常に「気づき・考え・実行する」態度を意識した取り組みが進められると共に、その成果は、さまざまな場面を利用して後輩に伝えられ、本校の伝統として脈々と息づいています。JRC活動には教諭として7年間、そして、現在、校長として関わり4年目を迎えます。私の教育活動の基本理念である「人を大切にす」「人の役に立つ」「心をそらえる」人づくりにおいても、その精神は生きており、例会や研究会、実践報告、夏のトレセン、献血活動等への参加を通して、実践目標に係る多くの学びがあったことに感謝しています。また、生徒たちの活動意欲や使命感にも触れることができ、私自身が励まされることもありました。



さらに、本校2年生は、奉仕の具体的な実践をめざして、毎年全員が市内の福祉系大学で体験研修を受けると共に、消防署員による心肺蘇生法・AEDの訓練を受けています。昨年11月、その訓練の甲斐あって、通学路に近い工事現場で、足場から転落し意識を失っている作業員に、下校中の本校3年生男子生徒が、心肺蘇生の救命活動を行い人命を救ったとして、兵庫県のじぎく賞をいただきました。彼の勇気と使命感に感心するだけでなく、68年間継続してきた重みを改めて感じているところです。



応募者プレゼント

日本赤十字社兵庫県支部の協賛企業様からご提供いただいています。ご応募、お待ちしております!

抽選で
5名様

社名 ヒガシマル醤油株式会社 -おいしさをずっと400年-
兵庫県たつの市は、うすくち醤油発祥の地です。たつの市にあるヒガシマル醤油は、天正年間(1580年頃)創業の老舗企業です。「うすくち醤油といえばヒガシマル」と言われ日本一のうすくち醤油生産量を誇ります。

商品名 ヒガシマル商品詰あわせ
国産原料にこだわった「超特選丸大豆うすくち(吟旬芳醇)」
「特選丸大豆うすくち」の2品と、地元播磨灘産の牡蠣を使った「牡蠣だししょうゆ」、国産原料のうすくち醤油にこだわりのだしで仕上げた「京風割烹白だし」の4本セットです。



応募方法

①氏名②郵便番号③住所④性別⑤年齢⑥電話番号⑦本誌でよかった記事(複数回答可)をメールまたははがきでご応募ください。抽選でプレゼントが当たります! **※切りは2019年1月31日必着**。当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。※いただいた個人情報はプレゼントの発送および当支部からの連絡のみに使用します。
メール so-mu-ka9889@hyogo.jrc.or.jp ★件名に「応募者プレゼント」とご記入ください。
はがき 〒651-2411 神戸市中央区臨浜海岸通1-4-5 日本赤十字社兵庫県支部 応募者プレゼント係



「1.17は忘れない ひょうご安全の日のつどい」に参加します

阪神・淡路大震災から24年。兵庫県では、防災意識を新たにするとともに、薄れゆく阪神・淡路大震災の経験と教訓を忘れずに語り継ぐ日として「ひょうご安全の日のつどい」を開催しています。兵庫県支部では、震災の経験と教訓から「備える」「伝える」「活かす」をテーマに様々な災害や事故を想定した訓練、研修会、救急法講習の普及などに取り組みしており、「ひょうご安全の日のつどい」にも毎年参加協力しています。ぜひご来場ください。

日時:平成31年1月17日(木)
場所:HAT神戸 なぎさ公園周辺(神戸市中央区臨浜海岸通)



兵庫県支部社は、1.17メモリアルウォーク 参加者の休憩場所となっており、今年度は、ネスレ日本株式会社様より協賛していただきます。

赤十字ポスターコンクール入賞作品展示

- ①1月17日 日本赤十字社兵庫県支部 1階駐車場
※「1.17は忘れない ひょうご安全の日のつどい」で展示します
- ②2月7日~20日 三ノ宮地下街 花時計ギャラリー

ミニ講習

平成31年2月23日(土) イオンモール神戸南 1階 キャナルコート
一次救命ミニ講習・赤十字クイズラリー などを行います。
ご参加をお待ちしております!



講習のご案内

| | |
|---------------------------|---|
| 赤十字基礎講習 (1日の講習) | 平成31年2月10日(日) 13:00~17:30 |
| | 平成31年3月2日(土) 13:00~17:30 |
| 救急法救急員養成講習 (2日間の講習) | 平成31年2月23日(土)・24日(日) 9:30~17:30 |
| | 平成31年3月23日(土)・24日(日) 9:30~17:30 |
| 救急法基礎・救急員養成講習 (3日間の講習) | 平成31年2月11日(月・祝)・16日(土)・17日(日) 9:30~17:30(初日は13:00~17:30) |

※申込期日は開催日(初日)の1ヵ月前までです。

お問い合わせは、お電話またはホームページで

Tel.078-241-1499

※隔月(奇数月)に発行しています。



〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1丁目4番5号 TEL.078-241-9889 FAX.078-241-6990

赤十字 兵庫 検索 <http://www.hyogo.jrc.or.jp/>

ひょうごの赤十字 1月号 [2019年1月1日発行]

ひょうごの赤十字+

2019

1

いのちと健康を守る活動にご協力感謝いたします。



日本赤十字社兵庫県支部 支部長(兵庫県知事)

井戸敏三

第1は、安全安心で豊かな暮らしの実現。頻発する自然災害や来るべき大規模災害への備えを強化します。また、子育て環境の充実や医療介護体制の確保など、安心して暮らせる基盤をつくります。
第2は、未来へ続く地域活力の創出。次世代産業の創出や新事業展開の促進、農林水産業の基幹産業化を進めます。また、地域と世界で活躍できる人材の育成に加え、誰もが生涯活躍できるよう、学び直しや多様な働き方を支援します。
第3は、国内外との交流・環流の拡大。インバウンド対策など内外からの誘客促進や五国の持つ資源を生かしたツーリズム人口の拡大、県外県民「ひょうごe-県民」の登録など人口の環流促進を図ります。高速道路の整備や空港、港湾の有効利用など交流の基盤となる交通インフラを充実します。
いつの時代も、ふるさとの将来に夢や希望を持ち、果敢に挑む人々が兵庫の明日を切り拓いてきました。兵庫の新たな歴史を築くための第一歩を共に踏み出していきましょう。

兵庫県 150年 新スタート 五国を活かしすこやかめざす

- 平成30年兵庫県赤十字有功章等贈呈式を開催
- 兵庫県日赤有功会がカンボジア赤十字社を訪問
- 平成30年度第4ブロック青年赤十字奉仕団リーダー養成研修会を開催
- 「1.17は忘れない ひょうご安全の日のつどい」に参加します
- 姫路赤十字病院において災害拠点病院訓練を実施
- 応募者プレゼント

平成30年兵庫県赤十字有功章等贈呈式を開催

11月15日、兵庫県公館にて「平成30年兵庫県赤十字有功章等贈呈式」を開催しました。

本式典は、日本赤十字社の活動のために多額の活動資金や奉仕活動、献血などで日頃からご協力いただいている方々に感謝の意を表し、日本赤十字社や国の表彰を贈呈（伝達）しています。

式典では、井戸支部長（兵庫県知事）の挨拶の後、壇上で23名の方々に表彰状や感謝状が授与され、壇上に上げられた皆さんは、笑顔で感謝状等を受け取られていました。

今回は、全部で440の個人、法人、団体が、表彰を受けられました。

式典に引き続き、兵庫県青少年赤十字加盟校である兵庫県立神戸高等学校の吹奏楽部12名に、木管アンサンブルを披露していただきました。「情熱大陸」や「西郷どん」など世代を超えて親しまれている曲を、木管の温かく優しい音色で演奏し、会場は大いに盛り上がりました。



式典の司会を担当した兵庫県立明石高等学校放送部の木澤ひかるさん(右)と藤近愛さん(左)

兵庫県立神戸高等学校吹奏楽部による木管アンサンブル

平成30年度第4ブロック青年赤十字奉仕団リーダー養成研修会を開催しました

11月24日(土)～25日(日)、しあわせの村(神戸市北区)にて、平成30年度第4ブロック青年赤十字奉仕団リーダー養成研修会を開催し、各府県から青年赤十字奉仕団員26名が参加しました。この研修会は、近畿2府4県の青年赤十字奉仕団リーダー(次期リーダー)を対象としており、リーダーとして必要な知識や技術を習得し、今後の赤十字活動に反映させることを目的として、毎年実施しています。

研修初日は、「赤十字7原則セミナー」について本社で同セミナーを受講した団員が講師となり、アクティビティや意見の発表を通して、「暴力抑止」「社会的包摂」「ジェンダー」といった社会課題について学び、「リーダーとしての役割」や「リーダーシップとは」についてグループワークを行いました。夕食後、各府県の青年奉仕団の活動紹介や各団で抱えている課題について共有し、アドバイスし合うことで、各団への相互理解及び成長に繋がりました。

二日目は、「福祉」、「災害」、「マイノリティ・HIV/AIDS」、「国際」の4つのテーマをもとに、今後関わっていききたい活動について、グループで活動計画を作成しました。

参加者からは、「今まで自分たちで活動計画をつくるということがなかったので、今回の経験を活かして、新たな活動をどんどん積極的に行っていきたいと思った。」「リーダーに必要なことを学び、今まで以上にボランティアについて知りたい、していきたいと思います。」といった感想がありました。

今回学んだ経験を活かし、各府県における青年赤十字奉仕団の活動の発展に繋がることを期待しています。



姫路赤十字病院において災害拠点病院訓練を実施

12月2日、姫路赤十字病院において、災害発生時の多数傷病者受入体制の確認および応援救護班の受入体制の構築や防災関係機関等との連携強化を図ること、また、院内のBCP*マニュアル検証を行うため、職員数の少ない休日・夜間体制を想定した訓練を実施しました。

マグニチュード7.5の山崎断層地震が発生し、姫路市地域においても最大震度6強を観測したという想定のもと、次々に搬送されてくる傷病者を病院前のトリアージエリアで重症度に基づいて優先順位をつけ、各エリアへ搬送しました。

傷病者役を担当していただいた姫路市下手野自治会会長は、「下手野に日赤の病院があるのは心強い。病院、消防、自治会、いろんな機関が連携、協力して非常事態に備えるのはとても大切なことなので、2年毎に参加させてもらっています。」と話してくださいました。

このような訓練を定期的の実施することで、災害に強い病院を目指しています。

*BCP=災害などの緊急事態が発生したときに、損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための計画



病院前のトリアージエリア



院内に作られた中等症患者エリア

兵庫県日赤有功会がカンボジア赤十字社を訪問

兵庫県日赤有功会の親睦旅行として、12月2日(日)から12月5日(水)までの3泊4日、23名にてカンボジアを訪問しました。

初日は、カンボジア赤十字社を表敬訪問し、赤十字事業について意見交換したあと、市内観光とアンコールワットに沈む夕日を楽しみました。

2日目は、アンコールワット等の遺跡を見学し、カンボジアの歴史を堪能しました。有功会員の方からは「今回の旅行は、カンボジア観光も十分楽しめたが、カンボジア赤十字社を訪問し、赤十字の世界的な繋がりを実感でき、大変有意義だった」という感想が聞かれました。また、参加された方同士、とても親密な時間を持つことができ、大変心に残る旅となりました。



いのちと健康を守る赤十字活動は
皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています。
活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます
口座記号番号:01110-0-1136
口座加入者名:日本赤十字社兵庫県支部
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。